

科研費公募開始を契機とした研究力向上への大学の取組

研究担当副学長
兼 研究・産学連携推進センター長
宮城悦子

横浜市立大学を取り巻く環境は、近年大きく変化しています。こうした中で本学では、「研究の横浜市立大学」の実現に向けて、学長を中心に、教職員一人ひとりの意識を高める取り組みが進められています。

いよいよ令和8年度の科研費公募が始まります。本学内でも、外部資金獲得に向けた取り組みが徐々に本格化しております。J-PEAKSの採択校となったことはその象徴的な成果のひとつです。また学内に目を向けますと、外部研究費の獲得を促進する仕組みとして、「基礎研究費の付加交付」において、科研費等の外部資金の保有が申請要件の一つとなる改革も行われました。

さらに、基盤研究(A)(B)などの大型種目への応募を目指す研究者を支援するため、今年度から学長裁量による新事業「科研費ステップアップ支援プロジェクト」がスタートしました。すでに多くの研究者がこの支援を活用し、次のステージへと進まれています。

科研費は、萌芽的な研究から先端的な研究まで、幅広いテーマに対応した公募制度です。本学の研究者の皆様には、ぜひこの機会に科研費を活用し、ご自身の研究をさらに発展させていただきたいと願っております。

特に、これまで科研費や国系の競争的研究費を保有されていない方におかれましても、積極的にチャレンジしていただければと思います。採択される可能性を高める申請書記載のアドバイスもURA部門が事前に行っておりますので、アナウンスがありましたら、早めにお申し込み下さい。

皆様の挑戦と成果が、「研究の横浜市立大学」の実現に向けた大きな一歩となることを期待しています。

<科研費に申請される先生方へお願い>

- ・ e-Radの登録・更新と科研費電子申請システムへのログインができるかご確認をお願いします。
※科研費の申請書を作成するために必要となりますので7月中に必ずご確認ください。
- ・ 科研費審査委員は researchmap で研究業績や略歴を参照します。申請書作成と合わせて researchmap の更新も忘れずをお願いします。
- ・ URA 部門より科研費申請に関する解説動画を配信しています。スキマ時間にぜひご視聴ください。(初めて科研費に申請される方にも分かりやすい内容となっています。)

◆科研費研究計画調書～ストーリーで記載～

◆書き方の基本～ここだけは押さえよう～ など計5コンテンツ

https://www.yokohama-cu.ac.jp/res-portal/ura_kakenhiseminar.html

以上